

# ティファール スチームアイロン

2WAYコードシリーズ (製品番号 FV70XXシリーズ)



180011414

このたびは、ティファール スチームアイロンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

また、本書はいつでも見られる場所に保管してください。

初めてご使用になるときは、スチームが出るまで多少時間がかかることがあります。

その場合、ジェットスチームボタンを10~15回押してください。

スチーム噴射検査を行っている為、まれに水タンク内に水滴が残っている場合がございますが、ご使用上問題ございません。

## 目次

安全上のご注意	1
各部の名前とはたらき	3
●温度設定ダイヤル ●ドライ/スチーム切替レバー	5
●絵表示の見かたと温度の関係	6
●キャリングケースの使い方	7
●コネクションブロックの取りはずし方/取りつけ方	7
●コード付モード、コードレスモードの使い分け	8
●ベースホルダーの使い方 ●電源コードの巻きつけ方	8
ご使用前に・・・	9
ご使用方法	10
●水の入れ方 ●スチームのご使用前に	10
●スチームアイロンとして使うには ●ジェットスチームを使うには	11
●バーチカルスチームを使うには	12
●ドライアイロンとして使うには	13
●ワンタッチスプレー(霧吹き)を使うには ●水漏れ防止機能	13
●使い終わったら	14
お手入れ方法	15
●本体 ●かけ面	15
●セルフクリーニング	16
●水あか防止バルブ ●水あか防止バルブのクリーニング	17
故障かなと思ったら	18

### 株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒141-0022 東京都品川区東五反田3-14-13 高輪ミュージズビル  
修理センター：〒242-0001 神奈川県大和市下鶴間2500

お客様  
相談センター

**0570-077772**  
受付時間：月～金 10:00～17:00(土日・祝日を除く)

部品注文  
センター

**0570-086072**  
受付時間：月～金 10:00～16:00(土日・祝日を除く)

\*全国各地より市内通話料金にてご利用いただけます。  
\*商品により部品としての取り扱いのないものがございます。

# 安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる皆様と周りの方への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

**警告** 誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

**注意** 誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容。

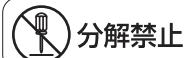
各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示（記号）がついています。



発火注意



強制または指示



分解禁止



禁止行為



感電注意



電源プラグをコンセントから抜く

## 警告

電源は、一般家庭用100V、50/60Hzを使用してください。

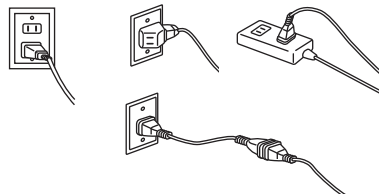
使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止してください。ショートや発火する恐れがあります。

修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。発火したり、異常作動してけがをすることがあります。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。やけど・感電・けがをすることがあります。

濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の恐れがあります。

●アイロンは、単独で使用してください。  
●2口コンセントの場合は片方の差し込み口を空けたままで使用してください。  
●延長コードを使用される際は、定格15Aのものに単独で使用してください。  
コンセントや電気コードが発熱し、発火することがあります。



## 注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電・ショート・発火の原因になります。

電源コードを差した状態で、アイロン本体から離れないようにしてください。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。損傷したコードの修理は弊社お客様相談センターにご連絡ください。

熱いアイロンにコードを巻き付けしないでください。ショート・発火の原因になります。

本体を水につけたり、水をかけたりしないでください。

ジェットスチームボタンを連続して速く押さないでください。湯滴漏れによるやけどの原因になります。

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。けが・やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

給排水時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因になります。

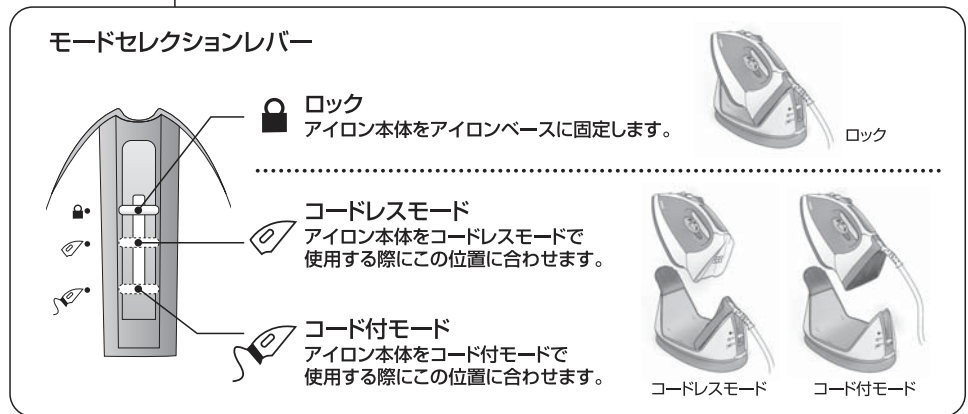
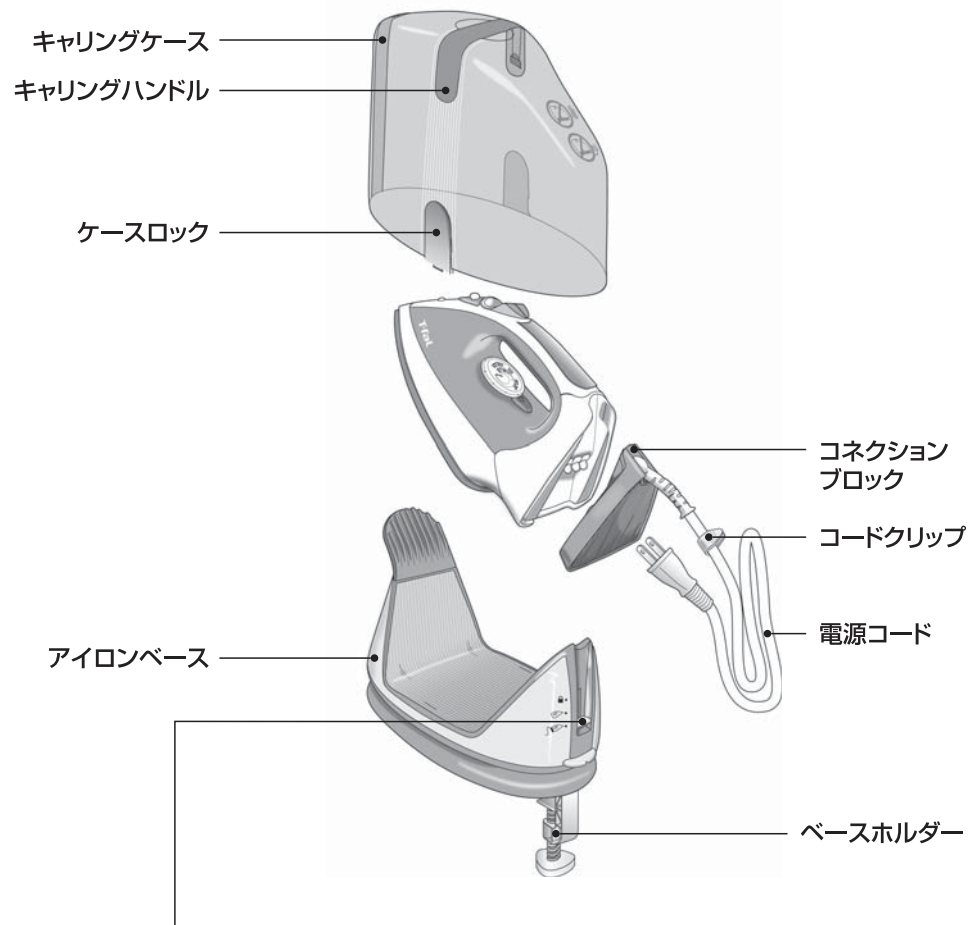
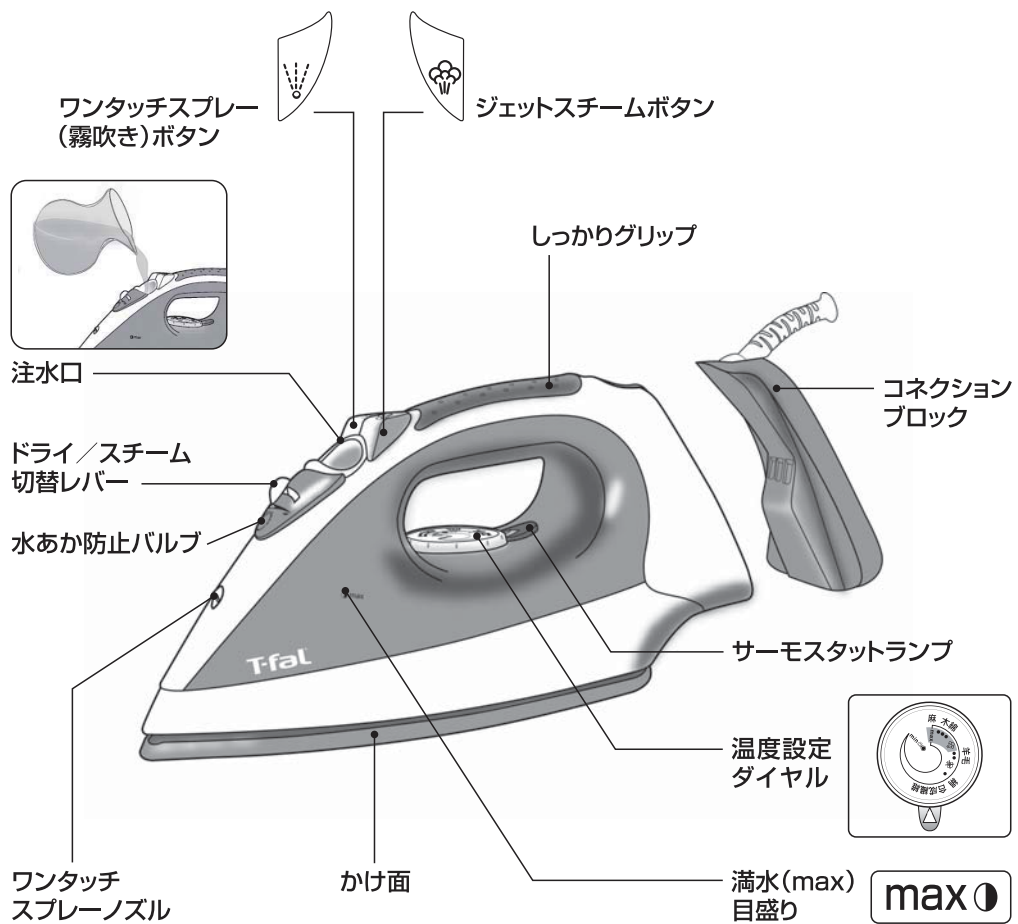
高温になる部分（かけ面など）に触れないでください。やけどの原因になります。

熱いスチームに触れないでください。やけどの原因になります。

※この製品は一般家庭用です。通常のご使用以外の目的に使用したり、業務用として使用するはおやめください。

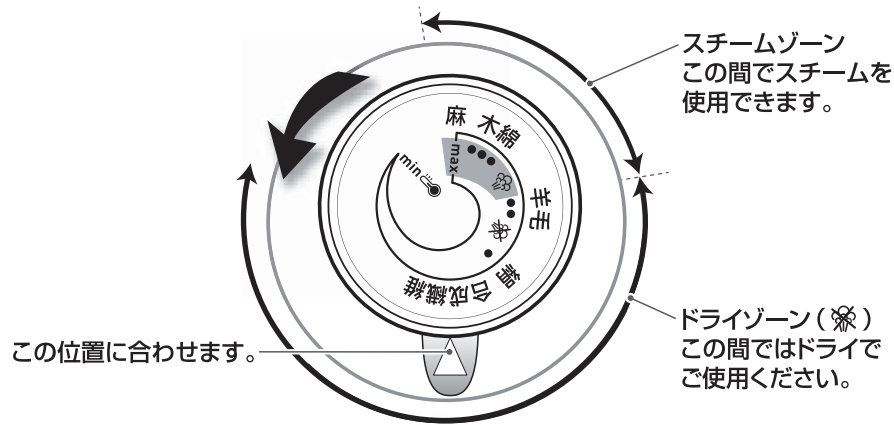
※自分の体や生き物にスチームを使用しないでください。また、アイロン台によっては、透過したスチームや湯滴でやけどの原因になります。十分気をつけてください。

# 各部の名前とはたらき



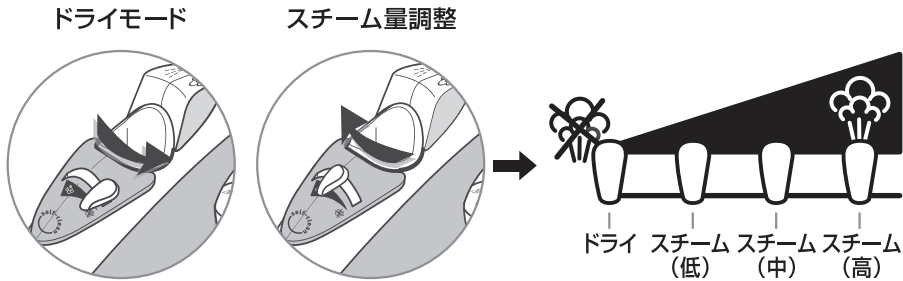
## ● 温度設定ダイヤル

かけ面の温度を設定します。



※かけ面は熱くなりませんが、「min」でも通電しているので、使用時以外は電源プラグを抜いてください。

## ● ドライ/スチーム切替レバー



※初めてご使用になるときはアイロンの温度を調節してからスチームが出るまで多少時間がかかることがあります。その場合、ジェットスチームボタンを10～15回程押してください。

※ドライアイロンとして使用していても、温度設定が「麻」「木綿」であれば一度にたくさんのスチームを出すジェットスチーム(11ページ)が使用できます。

## ● 絵表示の見かたと温度の関係

衣類に表示されている取り扱い絵表示(一部参考例)

絵表示	アイロンのかけ方
	あて布をして高温でかけてください。 ～線は指示温度であて布をするという意味です。
	低温でかけてください。
	アイロンがけはできません。

※ その他「スチーム禁止」などの表示があれば、その表示に従ってください。

温度設定目安表(表示されているかけ面の温度はドライアイロン使用時の温度)

繊維	温度設定ダイヤル表示	ドライ/スチーム切替レバー	かけ面の温度
麻	max		約210℃
木綿	...		約190℃
羊毛	..		約140℃
絹	.		約100℃
合成繊維	.		

■ スチームゾーン

### アイロンがけは順序よく

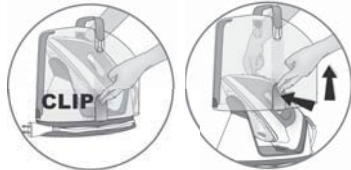
アイロンは熱くなりやすく、冷めにくいので、アイロンがけは低温に適した布地から高温のものへと順番にかけます。  
複数の繊維が混じている場合、最も熱に弱い繊維に温度をセットしてください。  
また、熱に弱い繊維(合成繊維・絹・羊毛など)にアイロンをかけるときは、ためしがけをしてください。



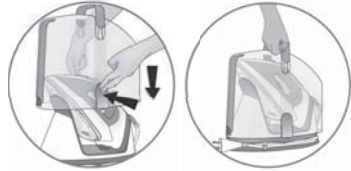
※アイロンがけの前に衣類を分けておけば能率的です。

## ● キャリングケースの使い方 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

〈使用前〉  
ケースロックを押しながら持ち上げ、  
キャリングケースを取りはずします。



〈使用後〉  
十分かけ面が冷えていることを確認し、  
キャリングケースを真上からかぶせてください。  
ケースロックがカチャリと音を立てて  
ロックされた事を確認します。

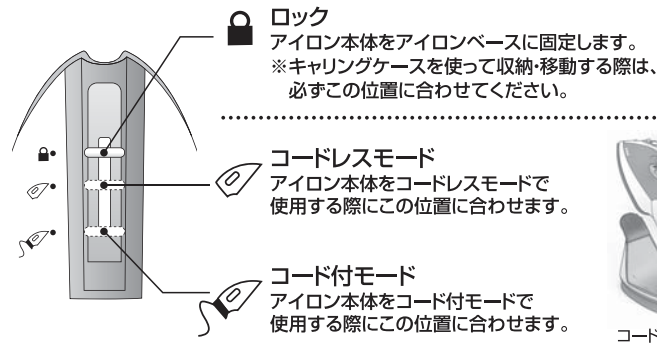


### 注意!

- 電源コードがコンセントに接続した状態でキャリングケースをかぶせないでください。
- アイロンかけ面が熱い状態でキャリングケースをかぶせないでください。

## ● コネクションブロックの取りはずし方／取り付け方 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

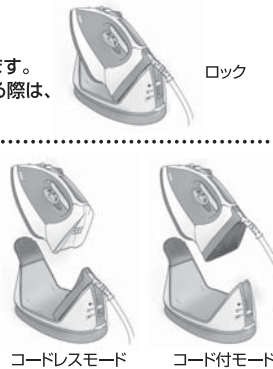
モードセレクションレバー



**ロック**  
アイロン本体をアイロンベースに固定します。  
※キャリングケースを使って収納・移動する際は、  
必ずこの位置に合わせてください。

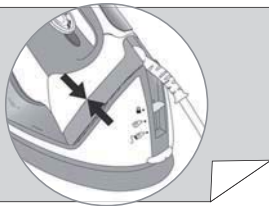
**コードレスモード**  
アイロン本体をコードレスモードで  
使用する際にこの位置に合わせます。

**コード付モード**  
アイロン本体をコード付モードで  
使用する際にこの位置に合わせます。



### 注意!

- モードセレクションレバーを「コードレスモード」から「コード付きモード」、もしくは「ロック」に切り換える場合、**しっかりとアイロン本体がコネクションブロックに固定されている事を確認してください。**



## ● コード付モード、コードレスモードの使い分け ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

状況に応じ、コード付モード、コードレスモードを使い分けてください。

〈コード付モードに適した場合〉

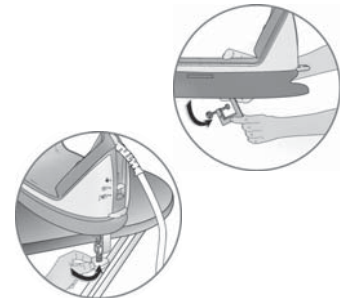
- ・厚手の生地、頑固なシワなど、ジェットスチームを多用する場合。
- ・ベッドシーツ、テーブルクロスなど、大きなものにアイロンがけする場合。
- ・ランチョンマットなど、大量にアイロンがけする場合。

〈コードレスモードに適した場合〉

- ・ハンカチなど小物にアイロンがけする場合。
- ・比較的少ないしわを取る場合。
- ・ワイシャツの肩や子供の洋服など、細かい部分にアイロンがけする場合。

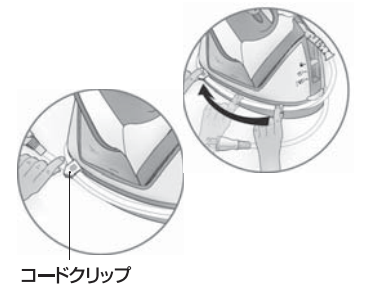
## ● ベースホルダーの使い方 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

- ① 電源コードはコンセントから抜いた状態で  
アイロンをアイロンベースから取り外します。
- ② アイロンベース底面にあるベースホルダーを引き出し、  
反対側にロックします。
- ③ ねじを回して、アイロン台にしっかりと固定してください。



## ● 電源コードの巻きつけ方 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

- ① モードセレクションレバーを「**ロック**」に合わせ、  
アイロンがしっかりと固定されている事を確認します。
- ② アイロンベース下部の溝に電源コードを巻きつけます。
- ③ コードクリップを電源コードにはさみます。



### 注意!

- プラグ根本をうまくクリッピングするために、コードクリップの位置をあらかじめ調整しておいてください。

## ご使用の前に・・・

●初めてアイロンをご使用になる際、かけ面と本体の間から白っぽい煙が出て多少臭いがすることがありますが、異常ではありません。  
製造工程中に使われる樹脂に含まれている水分が熱を受けて蒸気となって出てくるため、煙と臭いが発生するものです。  
この煙は無害で、また数回ご使用いただくと出なくなります。

●初めてアイロンをご使用になる際、ごくまれにスチーム孔から白い粉が出てくる場合がありますが、異常ではありません。  
アイロン内蒸気発生タンクには、セラミックの表面加工が施されています。この表面加工の微量の粉がタンク内に残ってしまっているためですので、初期のご使用の際には10回ほどジェットスチームボタンを押してからご使用ください。  
気になる場合は、セルフクリーニング(16ページ)を実施してください。

●スチームアイロンには、水道水をご使用ください。  
軟化水、解凍水、ミネラルウォーター、香水などを加えた水などはご使用にならないでください。  
アイロンのスチーム孔が詰まったり、布地のシミの原因となります。

●初めてアイロンをご使用になる際、また長期間スチームをご使用にならなかった際、まれにスチームが出るまで時間がかかることがあります。  
その場合は、7ページの「スチームのご使用前に」を参照していただき、通常より多めに、ジェットスチームボタンを10～15回程度押し続けると、スムーズに噴射されるようになり、それ以降は問題なくご使用いただけます。

●のりづけやスプレーは、必ずあて布をしてアイロンをかけてください。  
のりづけ(スプレーのりも含む)、すべりを良くするスプレー、柔軟剤のすすぎ残りなどはかけ面の汚れ(こげつき)だけでなく、大切な布地の汚れにもつながります。そのような場合は必ずあて布をしてアイロンをかけてください。

●温度設定は正確にしてください。  
6ページの「絵表示の見かたと温度の関係」を参照して、必ず繊維に合った温度設定をしてください。  
複数の繊維が混んでいる場合は、最も熱に弱い繊維に温度をセットしてください。正しい温度設定をしないとかけ面の汚れ(こげつき)や衣類を傷める原因となります。

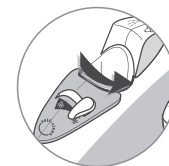
●使用中、使用後、アイロン内部から金属音がすることがありますが、異常ではありません。  
アイロン内部にある水漏れ防止用のバイメタル(金属)が、かけ面の温度変化によって機能することにより発生するものです。

## ご使用方法

### ●水の入れ方

スチームやワンタッチスプレー(霧吹き)を使う場合は、水タンクに水を入れます(水の追加含む)。

- ① 電源プラグがコンセントに接続していないことを確認します。
- ② ドライ/スチーム切替レバーを「霧」に合わせます。
- ③ アイロンをアイロンベースから取りはずし、平らな所に置きます。
- ④ お手持ちのカップなどを使って満水を目盛り(max)まで水を入れます(200ml)。  
※水はmaxより入れすぎないように注意してください。  
水漏れの原因になります。  
※電源プラグ、コードに水がかからないようご注意ください。
- ⑤ アイロンをアイロンベースに戻します。



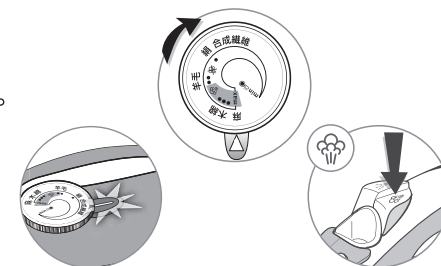
#### 注意

- 本製品は注水口のフタを必要としない、オープンインレット設計となっております。水をタンクに入れた状態で、アイロンかけ面が、地面に対し90°以上の角度にならないようご注意ください。立てる際も注水口が下を向かないようご注意ください。注水口からの湯滴漏れの原因になります。
- 必ず水道水を利用してください。ミネラルウォーターなどは目づまりやシミの原因となります。

### ●スチームのご使用前に

初めてスチームをご使用になるとき、また長時間スチームをご使用にならなかったときは、下記の手順でスチーム孔と内部に付着したほこりなどを排出させてください。

- ① 水タンクに水を入れます。(上の「水の入れ方」を参照してください)
- ② 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ③ 温度設定ダイヤルを「麻」にセットします。
- ④ サーモスタットランプが消えたら、かけ面を下にして浮かせて、ジェットスチームボタンを押してスチームを出してください。

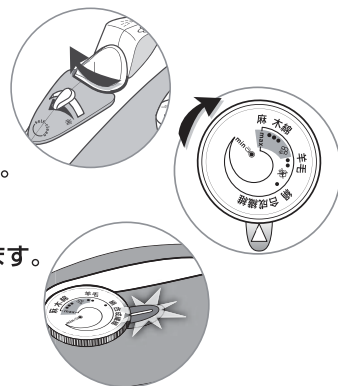


※初めてお使いになるときは、スチームが出るまで多少時間がかかることがあります。その場合、ジェットスチームボタンを10～15回程度押しってください。  
※ランプが消えるまでは、ドライ/スチーム切替レバーをドライのままにしてください。水漏れの原因になります。

## ● スチームアイロンとして使うには ●●●●●●●●●●

※初めてご使用になるときはアイロンの温度を調節してからスチームが出るまで多少時間がかかることがあります。

- ① 水タンクに水を入れます。  
(10ページの「水の入れ方」を参照してください)
- ② 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ③ 温度設定ダイヤルを繊維種類に合わせてセットします。
- ④ ドライ/スチーム切替レバーを、6ページの表を基に、スチームゾーン内で繊維の種類に合わせてセットします。
- ⑤ サーモスタットランプが消えたら準備完了です。



### 注意!

- サーモスタットランプが点灯したら、再度消えるまで待ってください。

## ● ジェットスチームを使うには ●●●●●●●●●●

- 一度にたくさんのスチームを出したいときは、ジェットスチームボタンを押してください。がんこなシワ取りに効果があります。

### 注意!

- 温度設定ダイヤルを「合成繊維」「絹」「羊毛」にセットしたときは、ジェットスチームを使用しないでください。湯滴漏れの原因になることがあります。
- サーモスタットランプが点灯したら使用しないでください。湯滴漏れの原因になることがあります。
- ジェットスチームの先には、生き物や自分の体がないようにしてください。やけどの原因になります。

- 温度設定ダイヤルを「木綿」「麻」にセットしたときに使えます。
- 温度設定ダイヤルを「麻」にセットしたときに一番パワフルにスチームが出ます。
- 連続使用するときは少なくとも4秒間あけてください。

## ● バーチカルスチームを使うには ●●●●●●●●●●

衣類をハンガーにかけたままシワを取ったり、カーテンのシワを取りたいときに使います。

### 注意!

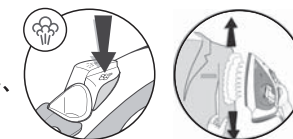
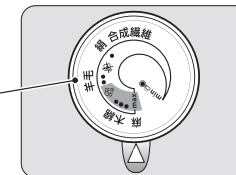
- 衣類を身につけたまま、アイロンやスチームをかけないでください。やけどの原因になります。

### お願い

- 熱に弱い繊維が焦げるのを防ぐためアイロンを衣類から数センチ離してください。

- ① 衣類をハンガーにかけて、布地のシワ取りをしたい部分を片手でピンと引っ張ります。
- ② 温度設定ダイヤルを「麻」にセットします。
- ③ ジェットスチームボタンを繰り返し押ししながら、アイロンを上から下に移動させます。連続使用するときは少なくとも4秒間あけてください。

温度設定ダイヤル

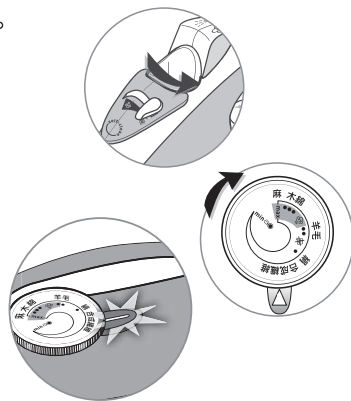


※バーチカルスチーム量が減ってきたら、一度アイロンを水平にし、再度バーチカルスチームを使用してください。

※サーモスタットランプが点灯したら、消えるまで待ってから使用してください。

## ●ドライアイロンとして使うには ●●●●●●●●●●●●●●●●●●

- ① ドライ/スチーム切替レバーを「※」にセットします。
- ② 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ③ 繊維の種類に合わせて、温度設定ダイヤルをセットします。(6ページの「温度設定目安表」を参照してください)
- ④ サーマスタットランプが消えたら準備完了です。  
※高温(木綿以上)であればジェットスチームも使用できます。



## ●ワンタッチスプレー(霧吹き)を使うには ●●●●●●●●●●●●●●●●●●

### 注意 ❶

●絹にはスプレーしないでください。布地を傷めることがあります。

スチームまたはドライで使用時、水タンクに水が入っていればスプレー(霧吹き)が使えます。

※使い始めは出にくいことがあります。  
何回かボタンを押してください。



## ●水漏れ防止機能 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●

かけ面の温度が設定温度に達していないとき、かけ面のスチーム孔からの水漏れを自動的に防止する機能があります。  
水漏れ防止機能が働くと、かけ面の温度が十分な温度に達するまでスチームは出なくなります。

### お知らせ・お願い

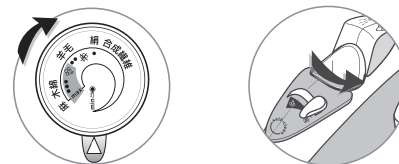
●水漏れ防止機能は、スチームアイロン使用時に働く機能で、ジェットスチームやパーチカルスチーム使用時には動きません。  
11ページを参考にして、ジェットスチームを使用する際は、温度設定ダイヤルを「木綿」「麻」の中でセットし、パーチカルスチームを使用する際は、温度設定ダイヤルを「麻」にセットしてください。また、連続使用する際は、少なくとも4秒間あけてください。

## ●使い終わったら ●●●●●●●●●●●●●●●●●●

### お願い

●水を入れたまま保管すると、水漏れの原因になることがありますので、必ず水タンクから水を抜いて保管してください。

- ① 温度設定ダイヤルを「min」にセットして、ドライ/スチーム切替レバーを「※」にセットします。



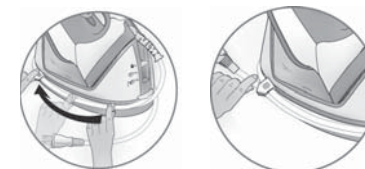
- ② アイロンをアイロンベースに置きます。

- ③ アイロンの電源プラグを抜き、かけ面が冷めるのを待ちます。

- ④ 流しの中でアイロン本体を逆さにし、水タンクから水を抜きます。  
※構造上完全に排水はできませんが、少量の水は製品保管上問題ありません。

- ⑤ アイロンをアイロンベースに戻します。

- ⑥ 電源コードをアイロンベース下部の溝に巻き付けます。この際、プラグ根本をうまくクリッピングするために、コードクリップの位置をあらかじめ調整しておいてください。



- ⑦ キャリングケースをかぶせます。

### 注意 ❶

●キャリングケースはアイロンかけ面が冷えたのを確認してから、かぶせてください。



## お手入れ方法

### ●本体

やわらかい布で拭いてください。  
がんこな汚れには濡らした布に中性洗剤を含ませてこすり、拭き取ってください。

#### 注意

- 水道水でじかにアイロンを洗わないでください。

#### お願い

- アイロンの電源プラグを抜いて冷めるのを待って、お手入れしてください。
- 研磨剤やシンナー、ベンジンは使用しないでください。

### ●かけ面

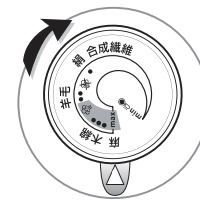
汚れが付いたときはすぐに拭き取ってください。  
そのまま放置すると、汚れが取りにくくなり布地を汚す恐れがあります。  
また、汚れが付いていると、かけ面のすべりを悪くします。

かけ面は、水を含ませたナイロンスポンジで定期的に掃除してください。  
頑固な汚れには、よく濡らしたタオルの上に、アイロンが冷めた状態でかけ面を下にして1時間程度置き、汚れをふやかします。その後、かたく絞った布でよく拭き取ってください。

### ●セルフクリーニング

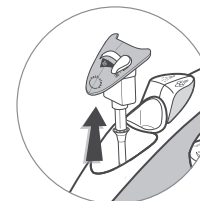
アイロン内部にたまった汚れを取り除くため、セルフクリーニングを行ってください。  
(使用する水質や、使用頻度にもよりますが、1ヶ月に1回を目安に行ってください。)  
スチーム孔の目詰まり防止に効果的です。

- ① 満水目盛り(maxマーク)まで水を入れます。  
(10ページの「水の入れ方」を参照してください)



- ② 電源プラグをコンセントに差し込んで、  
温度設定ダイヤルを「麻」にセットし、  
アイロンを立てた状態でサーモスタットランプが  
消えるまで待ちます。

- ③ アイロンの電源プラグを抜いて、流し台などの上で  
水平に持ち、水あか防止バルブを  
ドライ/スチーム切替レバーごと引き抜きます。



#### 注意

- 水あか防止バルブを取り外す際、手などがかけ面に  
触れないよう注意してください。

- ④ この状態で、アイロンを水平にし前後に振りながら、  
かけ面からお湯まじりの蒸気と汚れを排出させます。  
十分に汚れを取りたい場合は、もう1度くりかえしてください。



#### 注意

- 熱い蒸気やお湯に注意してください。

- ⑤ 終わりましたら、水あか防止バルブを元の位置にセットします。

#### お願い

- 水あか防止バルブが完全にセットされていないと、アイロンが  
正常に作動せず、湯滴漏れの原因になります。  
お手入れの後は、忘れずにセットしてください。



- ⑥ かけ面が冷めてから、やわらかい布でアイロンを拭きます。

## ●水あか防止バルブ

水あか防止バルブはタンク内の水あか成分を吸着し、いつでもタンク内の水をきれいに保ち、上質のスチームを実現します。

## ●水あか防止バルブのクリーニング

水あか防止バルブを数ヶ月に1回の割合で掃除することで、いつも安定した最大限のスチーム効果が得られます。

① 電源プラグをコンセントから抜き、水タンクを空にします。

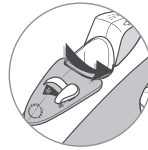
② ドライ/スチーム切替レバーを「霧」にセットします。

③ 水あか防止バルブを引き抜きます。

※このとき、バルブの先端を手で触れないよう注意してください。

④ バルブの先端を3~5倍に薄めた酢またはレモン汁に4時間ほど浸します。

⑤ バルブの先端部分を水道水ですすぎ洗いし、本体に戻してしっかり固定します。



### お願い

●水あか防止バルブが完全にセットされていないと、アイロンが正常に作動せず、湯滴漏れの原因になります。お手入れの後は、忘れずにセットしてください。

状況	考えられる原因	対処方法
アイロンが熱くならない	●温度設定ダイヤルの位置が正しくない。	●温度設定ダイヤルを目的の繊維にセットしてください。
	●きちんと電源プラグが入っていない。	●電源プラグをきちんとコンセントに差し込んでください。
スチームが出ないまたは十分でない	●初めての使用。	●初めて使用する場合、スチームが出るまで時間がかかることがあります。(10ページ)
	●ドライ/スチーム切替レバーが「霧」にセットされている。	●ドライ/スチーム切替レバーを「霧」位置にセットしてください。
	●温度設定がスチームゾーンになっていない。	●温度設定ダイヤルをスチームゾーンにセットしてください。(5ページ)
	●水タンクが空である。	●水タンクに水を入れてください。
	●スチーム孔が詰まっている、または長時間ドライのみで使用した。	●水あか防止バルブを洗浄し、セルフクリーニングを行ってください。(16・17ページ)
水タンクに水を入れ終わったらかけ面からスチームが出た	●コードレスモードで長時間使用した。	●アイロンをアイロンベースに戻し、サーモスタットランプが消えるまで給電してください。
	●ドライ/スチーム切替レバーが「霧」に合っていない。	●注水時は必ずドライ/スチーム切替レバーを「霧」にセットしてください。
水が漏れる	●ジェットスチームボタンの使用回数が多すぎる。	<コード付モード> ●ジェットスチームボタンを連続使用する場合、少なくとも4秒間あけてください。 <コードレスモード> ●アイロンをアイロンベースに戻し、サーモスタットランプが消えてから使用してください。
	●温度設定ダイヤルがドライゾーンにあるのに、スチームを使用した。	●ジェットスチームを使用するときは、温度設定ダイヤルを木綿以上の温度設定にしてください。(5ページ)
	●設定温度になる前にジェットスチームを使用した。	●サーモスタットランプが消えてからジェットスチームを使用してください。
	●水タンクに水を入れ過ぎた。	●水量は多くてもmaxマークまでにしてください。
	●ドライ/スチーム切替レバーを「霧」にせず保管・注水した。	●ドライ/スチーム切替レバーを「霧」にして、保管・注水してください。